

V 日本語教員養成課程の履修について(令和6年度(2024 年度)以降入学生)

当課程は、外国人等に対する日本語教育に必要な知識・能力のある日本語教員の養成を目的とします。

(ただし、人文社会科学部の学生に限ります。)

当課程は、「必須の教育内容 50 項目に対応した日本語教員養成課程等」を満たすカリキュラムであり、登録日本語教員の資格取得に係る経過措置【C ルート】に該当します。

国家資格である「登録日本語教員」を取得するためには、本学の「日本語教員養成課程」を修了したうえで、文部科学省が実施する日本語教員試験（応用試験）に合格する必要があります。

1. 登録方法

毎年度1月～2月にかけて、KULAS にて日本語教員養成課程の履修希望者向けのアンケートを実施する。

アンケートは、毎年1回、実施する。(新入生向け:4月頃、2年生以上向け1～2月頃)

アンケートで履修希望と回答した学生を、当該年度の日本語教員養成課程の履修生とする。

特に、2年生以上は、日本語教育実習 I・II の希望調査を兼ねるため、履修希望者は必ず回答すること。

2. 履修科目 《令和6年度以降入学生用》

授業 コード	授 業 科 目	単 位 数	最低修得 単位数	教 員	履修 開始 年次	時間割			本年度 開講	区分	備考
						学 期	曜 日	時 限			
27024	日本語教育論	2	2	未定	1	2	未定		○	国際・専門	隔年開講
27027	日本語教授法	2	2	非常勤講師	1					国際・専門	隔年開講
25114	言語習得・言語教育Ⅱ	2		小林 安那	1	1	水	2	○	プラット	隔年開講
27158	日本語教授法演習	2	2	渡辺 裕美	2	2	月	4	○	任意科目	
27165	外国語としての日本語	2	2	和田 美砂子	1	1	金	3	○	国際・専門	
27020	外国語としての日本語演習	2	2	渡辺 裕美	2					国際・専門	隔年開講
27025	日本語教育論演習	2		小林 安那	2	2	水	2	○	国際・専門	隔年開講
27021	外国語としての日本語基礎論	2	2	井上 里鶴	1	2	集中		○	国際・専門	隔年開講
27012	第二言語習得論	2	2	ダイナ リングラー	2	1	月	3	○	国際・専門	隔年開講
25113	言語習得・言語教育Ⅰ	2		ダイナ リングラー	1					プラット	隔年開講
25111	言語のしくみⅠ	2	2	古閑 恭子	1					プラット	隔年開講
27002	社会言語学	2	2	塩川 奈々美	1	1	集中		○	国際・専門	隔年開講
27026	日本語教材分析	2	2	尾中 美代子	1	1	水	3	○	国際・専門	
27159	教室運営論	2	2	尾崎 裕子	2	1	集中		○	任意科目	同じ年度に履修 すること。
27166	日本語教育実習Ⅰ	1	1	渡辺・和田	2	通年	集中		○	任意科目	
27167	日本語教育実習Ⅱ	1	1	渡辺 裕美	2	通年	集中		○	任意科目	
25056	グローバル社会と地域	2	2	川本 真浩	2	2	水	2	○	プラット	
25107	グローバル社会と地域	2		岩佐光・中川	2	2	水	2	○	プラット	
27163	越境社会論	2			1					国際・専門	
27164	越境文化論	2		廣瀬 淳一	1	2	火	4	○	国際・専門	
合計			26								

(注)任意科目は、卒業に必要な単位には含まれない。(任意取得科目となる。)

3. 履修方法等

(1) 修得すべき単位数

必修科目及び選択必修科目を合わせて、14科目 26単位を修得する必要がある。

(2) 「日本語教授法演習」

・履修資格:履修する前学期までに以下の3科目を修得済みであること。

「日本語教授法」または「言語習得・言語教育Ⅱ」のいずれか1科目

「日本語教材分析」

「外国語としての日本語」

(3) 「教室運営論」「日本語教育実習Ⅰ、Ⅱ」

・履修方法:「教室運営論」「日本語教育実習Ⅰ、Ⅱ」は、同一年度に履修すること。

・履修資格:履修する前学期までに以下の5科目を修得済みであること。

「日本語教授法」または「言語習得・言語教育Ⅱ」のいずれか1科目

「日本語教材分析」

「外国語としての日本語」

「第二言語習得論」または「言語習得・言語教育Ⅰ」のいずれか1科目

「日本語教授法演習」

4. 日本語教育実習Ⅰ・Ⅱ

日本語教育実習Ⅰ(1単位)では、事前指導及び事後指導を行う。

日本語教育実習Ⅱ(1単位)では、各実習先において授業見学や教壇実習などを行う。

(1) 実習先

国内・海外のいくつかの実習先がある。実習先により、実習費や旅費等の費用がかかる場合がある。

希望調査を行うが、定員や日程調整のため、希望に沿えない場合がある。

(参考:令和6年度実習先)

国内:龍馬デザイン・ビューティ専門学校、明德義塾高等学校 ほか

海外:ブラビジャヤ大学(インドネシア)、釜山外国語大学(韓国)

(2) 保険の加入

実習中の万一の事態等に備えて、傷害保険及び賠償保険の両方に必ず加入すること。

(参考)大学が取扱窓口となっている保険は、以下のとおり。

取扱窓口	傷害保険	賠償責任保険
学生支援課	学生教育研究災害保険(学研災)	学研災附帯賠償責任保険

実習先が海外の場合は、高知大学指定の海外旅行保険にも必ず加入すること。

5. 教室運営論及び日本語教育実習Ⅰ・Ⅱのスケジュール(予定)

前年度1～2月:希望調査

1学期:実習先の決定

7月頃:日本語教育実習オリエンテーション

8～9月:集中講義「教室運営論」

8～10月:各実習先での日本語教育実習

「日本語教育実習Ⅰ」では、1学期から2学期にかけて事前指導と事後指導を行います。

6. 単位修得証明書

所定の単位を修得した者には、本人の申し出により、「日本語教員養成課程」の単位修得証明書を交付します。